



令和3年度 第4四半期（令和4年 1月 1日～令和4年 3月31日）

環 境 放 射 線 管 理 報 告 書

2022再 放 発 第 4号

令 和 4 年 5 月 11 日

原子力規制委員会 殿

住所

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

字沖付4番地108

名称及び代表者の氏名

日本原燃株式会社

代表取締役社長 社長執行役員

増田 尚宏

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び使用済燃料の再処理の事業に関する規則第21条第2項の規定により次のとおり報告します。

工場又は 事業所	名 称	再処理事業所
	所在地	〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1}		平常の変動幅 ^{注1,注2}	単位	備考	
					最小～最大	比較対照				
						最小～最大				
空間放射線	線量率	敷地内9地点	連続	連続	モニタリングポスト	7~44	/	17±10 (8~118)	nGy/h	・1時間平均値を示す。
		敷地外3地点			モニタリングステーション	8~47	/	21±12 (10~85)		
	積算線量	敷地内9地点 敷地外14地点	連続	1回/3月	γ線	74~87	73	93±24 (71~118)	μGy/91日	・測定値は、91日当たりに換算した値を示す。 ・設置期間 敷地内:令和3年12月21日~令和4年3月23日 敷地外:令和3年12月22日~令和4年3月24日
空気	浮遊じん	敷地内9地点	連続	連続	全α放射能	5.1	/	7.3	Bq/m ³	・1時間平均値の当該期間の最大値を示す。
					全β放射能	5.7	/	7.0		
		敷地外3地点	連続	1回/週	全α放射能	*~0.18	/	*~0.23	mBq/m ³	
					全β放射能	0.28~0.85	/	*~1.1		
	敷地内9地点 敷地外3地点	連続	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND	/	ND	mBq/m ³		
				Pu(α) ^{注3}	ND	/	ND			
	気体状β放射能濃度	敷地外3地点	連続	連続	⁸⁵ Kr	ND	/	ND	kBq/m ³	・1時間平均値を示す。
ヨウ素	敷地外3地点	連続	1回/週	¹³¹ I	ND	/	ND	mBq/m ³		
大気中湿分	敷地外3地点	連続	1回/月	³ H	ND	/	ND	mBq/m ³		
飲料水	敷地外4地点	1回/3月	1回/3月	³ H	ND	/	ND	Bq/L	mBq/L	
				⁹⁰ Sr	ND	/	ND			
				¹⁰⁶ Ru	ND	/	ND			
				¹³⁷ Cs	ND	/	ND			
				Pu(α) ^{注3}	ND	/	ND			
陸土	表土	敷地内1地点 敷地外3地点	1回/年	1回/年	⁹⁰ Sr	/	/	0.7~4.8	Bq/kg*乾	・第2四半期報告済
					¹⁰⁶ Ru	/	/	ND		
					¹²⁹ I	/	/	ND		
					¹³⁷ Cs	/	/	8~26		
					Pu(α) ^{注3}	/	/	0.23~0.98		
					²⁴¹ Am	/	/	0.08~0.38		
					²⁴⁴ Cm	/	/	ND		
湖底土	敷地外1地点	1回/年	1回/年	⁹⁰ Sr	/	/	ND	Bq/kg*乾	・第3四半期報告済	
				¹³⁷ Cs	/	/	ND~5			
				Pu(α) ^{注3}	/	/	0.73~1.2			
				²⁴¹ Am	/	/	0.30~0.52			
陸上植物	精米	敷地外3地点	1回/年	1回/年	¹⁴ C	/	/	0.22~0.24	Bq/g*炭素	・第3四半期報告済
					¹⁰⁶ Ru	/	/	ND		
					Pu(α) ^{注3}	/	/	ND		
根	菜	敷地外2地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru	/	/	ND	Bq/kg*生	・第2四半期報告済 対象:パレインヨ(1地点) ・第3四半期報告済 対象:ナガイモ(1地点)
					Pu(α) ^{注3}	/	/	ND		
葉	菜	敷地外1地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru	/	/	ND	Bq/kg*生	・第3四半期報告済 対象:ハクサイ
					Pu(α) ^{注3}	/	/	ND		
畜産物	牛乳	敷地外4地点	1回/3月	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND	/	ND	Bq/L	

注1) ND:定量下限値未満を示す。また、測定値が計数誤差の3倍以下の場合検出限界以下とし、「*」で示す。

注2) 平常の変動幅は、次のとおり設定した。

- ・空間放射線(線量率及び積算線量)については、平成28年度から令和2年度までの5年間に於ける平均値±(標準偏差の3倍)に設定した。また、下段の()に最小値から最大値の幅を示す。
- ・空気(浮遊じんの全α放射能及び全β放射能(敷地外3地点)、気体状β放射能濃度、ヨウ素)については、平成28年度から令和2年度までの5年間に於ける測定値の最小値から最大値の幅で設定した。また、敷地内9地点の空気(浮遊じんの全α放射能及び全β放射能)については、平成28年度から令和2年度までの5年間に於ける測定値(1時間平均値の最大値)で設定した。
- ・その他については、環境試料の種類ごとに平成23年度から令和2年度までの10年間に於ける測定値の最小値から最大値の幅で設定した。

注3) Pu(α): ²³⁸Puと^{239,240}Puの合計値を示す。

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1)}		平常の変動幅 ^{注1,注2)}	単位	備考		
					最小～最大	比較対照					
						最小～最大					
採取点	頻度	頻度	対象								
海	水	むつ小川原港 港湾区域内	1回/3月	1回/3月	³ H	ND		ND	Bq/L		
					⁹⁰ Sr	ND		ND			
					⁶⁰ Co	ND		ND			
					¹⁰⁶ Ru	ND		ND			
					¹³⁴ Cs	ND		ND			
					¹³⁷ Cs	ND		ND			
					¹⁴⁴ Ce	ND		ND			
					¹⁵⁴ Eu	ND		ND			
	Pu(α) ^{注3)}	ND		ND	mBq/L						
海	底	放出口付近1地点 東約1km地点1点 西約1km地点1点 南約1km地点1点 北約1km地点1点 南約3km地点1点 北約3km地点1点 物見崎沖1点	1回/6月	1回/6月	⁹⁰ Sr			ND	Bq/kg・乾	・第1,3四半期報告済	
					⁶⁰ Co			ND			
					¹³⁴ Cs			ND			
					¹³⁷ Cs			ND			
					¹⁴⁴ Ce			ND			
					¹⁵⁴ Eu			ND			
						Pu(α) ^{注3)}					0.10～0.78
						²⁴¹ Am					ND～0.33
	²⁴⁴ Cm			ND							
海	魚	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	³ H	ND		ND	Bq/L	・今期対象:ヒラメ	
					¹⁰⁶ Ru	ND		ND			
					Pu(α) ^{注3)}	ND		ND			
海	貝	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND		ND	Bq/kg・生	・今期対象:ムラサキインコガイ	
					Pu(α) ^{注3)}	ND		ND～0.006			
海	藻	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND		ND	Bq/kg・生	・今期対象:チガイソ	
					Pu(α) ^{注3)}	0.003		ND～0.006			
漁	網	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	γ 線表面線量率	ND		ND	nGy/h		
					β 線吸収線量率	ND		ND～37	nGy/h		

注1) ND: 定量下限値未滿を示す。

注2) 平常の変動幅は、環境試料の種類ごとに平成23年度から令和2年度までの10年間における測定値の最小値から最大値の幅で設定した。

注3) Pu(α): ²³⁸Puと^{239,240}Puの合計値を示す。

別表 定量下限値一覧

測定項目		単位	定量下限値	
空 気	浮遊じん	¹⁰⁶ Ru	mBq/m ³ 0.2	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu mBq/m ³ 0.0002	
			mBq/m ³ 0.0002	
	気体状β放射能濃度	⁸⁵ Kr	kBq/m ³ 2	
ヨウ素	¹³¹ I	mBq/m ³ 0.2		
大気中湿分	³ H	mBq/m ³ 40		
飲料水		³ H	Bq/L 2	
		⁹⁰ Sr	mBq/L 0.4	
		¹⁰⁶ Ru	mBq/L 60	
		¹³⁷ Cs	mBq/L 6	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu mBq/L 0.02	
陸 土	表土	⁹⁰ Sr	Bq/kg・乾 0.4	
		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・乾 20	
		¹²⁹ I*1	Bq/kg・乾 5	
		¹³⁷ Cs	Bq/kg・乾 3	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu Bq/kg・乾 0.04	
	湖底土	²⁴¹ Am	Bq/kg・乾 0.04	
		²⁴⁴ Cm	Bq/kg・乾 0.04	
		⁹⁰ Sr	Bq/kg・乾 0.4	
		¹³⁷ Cs	Bq/kg・乾 4	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu Bq/kg・乾 0.04	
陸上植物	精米	¹⁴ C	Bq/g・炭素 0.005	
		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu Bq/kg・生 0.002	
	根菜	¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu Bq/kg・生 0.002	
			Bq/kg・生 0.002	
	葉菜	¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4	
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu Bq/kg・生 0.002	
	畜産物	牛乳	¹⁰⁶ Ru	Bq/L 4

*1:放射化学分析法

測定項目		単位	定量下限値
海 水		³ H	Bq/L 2
		⁹⁰ Sr	mBq/L 2
		⁶⁰ Co	mBq/L 6
		¹⁰⁶ Ru	mBq/L 60
		¹³⁴ Cs	mBq/L 6
		¹³⁷ Cs	mBq/L 6
		¹⁴⁴ Ce	mBq/L 30
		¹⁵⁴ Eu	mBq/L 10
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu mBq/L 0.02
			mBq/L 0.02
海 底 土		⁹⁰ Sr	Bq/kg・乾 0.4
		⁶⁰ Co	Bq/kg・乾 3
		¹³⁴ Cs	Bq/kg・乾 3
		¹³⁷ Cs	Bq/kg・乾 3
		¹⁴⁴ Ce	Bq/kg・乾 8
		¹⁵⁴ Eu	Bq/kg・乾 5
海 産 生 物		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu Bq/kg・乾 0.04
			Bq/kg・乾 0.04
		²⁴¹ Am	Bq/kg・乾 0.04
		²⁴⁴ Cm	Bq/kg・乾 0.04
漁 網		³ H*2	Bq/L 2
		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4
		Pu(α)	²³⁸ Pu ^{239,240} Pu Bq/kg・生 0.002
	Bq/kg・生 0.002		
漁 網		γ線表面線量率	nGy/h 10
		β線吸収線量率	nGy/h 30

*2:魚類の自由水中トリチウム

環境放射線管理報告書（令和3年度第4四半期）における
空間放射線（線量率）の測定結果について

表-1 に示すとおり、敷地内9地点（モニタリングポスト）及び敷地外3地点（モニタリングステーション）における空間放射線（線量率）のうち、平常の変動幅を上回った測定値は、すべて降雨等に伴う空気中の天然放射性核種に起因する自然変動であり、下回った測定値は、積雪の影響によるものであった。

表-1 空間放射線（線量率）測定結果 (nGy/h)

測定			測定値		平常の変動幅を 外れた時間数 (単位:時間)	平常の変動幅を 外れた原因と時間数 (単位:時間)		平常の変動幅 (注1) 平均値±3σ (最小～最大)	アクティブ試験 開始前の測定結果 (注2) 平均値±3σ (最小～最大)
測定点	項目	頻度	測定地点	最小～最大		降雨等 (注3)	その他		
敷地内 9地点	γ線	連続	MP-1	9～37	12	12	0	17±10 (8～118)	17±11 (7～81)
			MP-2	11～43	21	21	0		
			MP-3	7～42	15	15	0		
			MP-4	8～44	11	11	0		
			MP-5	10～34	6	6	0		
			MP-6	10～35	9	9	0		
			MP-7	9～42	13	13	0		
			MP-8	9～39	16	16	0		
			MP-9	10～43	14	14	0		
敷地外 3地点	γ線	連続	MS 老部川	8～41	35	35	0	21±12 (10～85)	20±12 (7～93)
			MS 二又	9～46	14	14	0		
			MS 室ノ久保	10～47	7	7	0		

(注1) 平常の変動幅は平成28年度から令和2年度までに実施した測定結果の平均値±(標準偏差の3倍)を設定し、下段の()に最小値～最大値を示す。

(注2) アクティブ試験開始前の測定結果は平成7年度から平成17年度までに実施した測定結果を示す。

(注3) 天然放射性核種に起因して、降雨及び降雪時には線量率が一時的に上昇するとともに、積雪時には線量率が低下することで平常の変動幅を外れることがある。